

経済倶楽部便り

日本橋法人営業部長の方々です。

7月の講師は伊藤元重・学習院大学国際社会科学部教授、小林弘幸・順天堂大学病院教授、

渡部恒雄・笹川平和財団上席研究員です。

◆東京◆ 5月の改元と10連休明けに経済倶楽部では映画の撮影がありました。当倶楽部のホールや会議室には昭和の香りが残っているのか近年、そうした撮影依頼が増えています。今回は2020年公開予定の『罪の声』の撮影で、俳優の小栗旬、星野源両氏をはじめ大勢の撮影スタッフが朝から倶楽部のホールや会議室に機材を持ち込み、撮影を行っていました。来年公開される映画で倶楽部のホールや会議室がどう映像的に使われたの興味深いものがあります。

4月入会者（一部）をご紹介します。寺岡安理・日本海商事社長、伊藤雄介・三井住友銀行

◆中部◆ 5月は武者リサーチの武者代表にお話し頂きました。そのなかで、日本の製造業は家電や半導体で負けたとの印象が強いが、実はリーマンショック後、稼ぐ力（経常利益率）は過去最高を更新中と。理由は価格競争に巻き込まれないセンサーなどハイテク部品で地歩を固めてきたからだ。日本経済の明るい側面の情報に新鮮な気付きを与えてくれました。

7月の講師は「コリアレポート」編集長の辺真一氏、元経済企画庁長官の田中秀征氏を予定しています。
(日暮良一)